

〈第156回〉銀行業務検定試験成績発表

法務2級、証券3級、外国為替3級、保険販売3級が好成績

去る2023年10月22日(日)に実施した第156回銀行業務検定試験の成績結果がまとまりましたので、以下のとおり報告いたします。

■法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数2,467名中受験者は2,002名で合格者は673名でした。合格率は33.62%、平均点は42.64点で、ともに前回は上回りました。

最高点は86点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

問題ごとの平均点をみていくと、〈預金〉の分野では〔問題-1〕預金の相続の問題が5.70点となっています。基礎的な理解を問う問題であり、また繰り返し出題されているテーマであることから、比較的よく記述されていました。〔問題-2〕振込人の誤振込による預金の成立と組戻しの問題は5.24点となりました。〔問題-3〕取引時確認と本人確認の問題は5.79点となりました。択一の正解率も高く、比較的理解がされている答案が多い問題でした。〔問題-4〕預金に対する差押え・滞納処分等の競合の問題は5.24点となりました。民事執行法の規定しか挙げていない答案も比較的あり、租税債権と一般の金銭債権の取扱いの違いから改めて学習していただければと思います。

ます。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-5〕手形の善意取得と除権決定の問題は3.02点となりました。〔問題-6〕電子記録債権の問題は4.61点となりました。基本的な理解を問う問題で、過去に類似の問題が出題されていたこともあり、よくできている答案も多数ありました。

〈融資〉の分野では、〔問題-7〕成年被後見人である顧客との融資取引の問題は3.44点となりました。当該成年被後見人が真に権限を有する者であることを確認するためには、登記事項証明書に記載されている内容は「最新の」ものでなければならない点に注意が必要です。〔問題-8〕取引先の民事再生手続の開始と銀行の対応の問題は3.49点となりました。金融機関にとって、取引先が破産または民事再生をした場合の対応は重要な課題であり、破産法や民事再生法の条文については、その内容を正確に読んで理解できるようにしておくことが大切です。〔問題-9〕連帯保証人に対する請求と抗弁の問題は3.30点となりました。〔問題-10〕取引先の合併と債権の管理の問題は2.81点となりました。〔問題-10〕は時間と

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

(合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	45	664	5	218	997	74	75	44	2	0	0	343	2,467
応募比率	1.82	26.92	0.20	8.84	40.41	3.00	3.04	1.78	0.08	0.00	0.00	13.90	100.00
受験者数	39	537	5	172	853	67	69	39	1	0	0	220	2,002
受験率	86.67	80.87	100.00	78.90	85.56	90.54	92.00	88.64	50.00	0.00	0.00	64.14	81.15
合格者数	20	193	3	50	237	18	34	12	1	0	0	105	673
合格率	51.28	35.94	60.00	29.07	27.78	26.87	49.28	30.77	100.00	0.00	0.00	47.73	33.62
平均点	49.41	44.17	52.80	41.43	40.35	38.18	47.58	38.85	86.00	0.00	0.00	47.61	42.64
年齢	26.8	31.5	27.8	43.4	38.9	41.6	37.9	39.0	33.0	0.0	0.0	34.4	36.6
勤続年数	3.3	8.4	4.8	19.9	16.0	16.4	14.2	14.2	10.0	0.0	0.0	10.1	13.3

の関係からか、点数が低い結果となっています。  
 すべての問題に共通することですが、①条文や判例等の根拠の提示→②事例・選択肢との比較・あてはめ→③結論（各選択肢の正誤判断）という基本的な論述形式を心がけてください。

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数6,534名中受験者は5,829名で、合格者は1,241名でした。合格率は21.29%、平均点は45.56点で、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈預金〉の分野では〔問-5〕偽造・盗難カード預貯金者保護法、〔問-6〕当座勘定取引の解約、〔問-10〕民事執行法による預金の差押えの3問、〈融資〉

の分野では〔問-12〕割引手形の買戻請求権、〔問-16〕普通抵当権と根抵当権の異同、〔問-17〕根抵当権の元本の確定、〔問-20〕譲渡担保権、〔問-23〕債務引受、〔問-24〕破産手続、〔問-25〕抵当権の実行の7問、〈決済〉の分野では〔問-31〕小切手の振出、〔問-36〕手形・小切手の消滅時効の2問、〈銀行取引関連法〉の分野では〔問-45〕民法上の意思表示の1問で、計13問でした。

このうち〔問-12〕は、割引手形の買戻請求権の法的性質を問うものでした。割引手形の買戻請求権は、銀行と割引依頼人との間の銀行取引約定書の特約にもとづく手形法外の権利（契約上の権利）であると解されています。基本的な知識として、正確に理解しておいてください。

■法務4級

「法務4級」の成績結果は、〔表-3〕のとおり

〔表-2〕法務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	33	1,524	30	526	2,208	547	920	326	0	0	13	407	6,534
応募比率	0.51	23.32	0.46	8.05	33.79	8.37	14.08	4.99	0.00	0.00	0.20	6.23	100.00
受験者数	30	1,378	23	442	1,992	488	861	288	0	0	11	316	5,829
受験率	90.91	90.42	76.67	84.03	90.22	89.21	93.59	88.34	0.00	0.00	84.62	77.64	89.21
合格者数	13	356	9	75	376	62	199	54	0	0	2	95	1,241
合格率	43.33	25.83	39.13	16.97	18.88	12.70	23.11	18.75	0.00	0.00	18.18	30.06	21.29
平均点	56.07	47.49	52.00	44.20	44.50	41.25	45.99	46.08	0.00	0.00	39.64	49.58	45.56
年齢	28.6	25.5	29.8	27.1	27.9	28.3	34.8	28.4	0.0	0.0	38.5	31.6	28.6
勤続年数	3.1	2.3	5.4	4.3	5.2	6.1	11.2	3.9	0.0	0.0	10.4	6.7	5.3

〔表-3〕法務4級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	0	35	0	173	691	233	202	22	0	1	0	44	1,401
応募比率	0.00	2.50	0.00	12.35	49.32	16.63	14.42	1.57	0.00	0.07	0.00	3.14	100.00
受験者数	0	32	0	156	656	223	190	21	0	0	0	41	1,319
受験率	0.00	91.43	0.00	90.17	94.93	95.71	94.06	95.45	0.00	0.00	0.00	93.18	94.15
合格者数	0	17	0	95	426	138	92	11	0	0	0	31	810
合格率	0.00	53.13	0.00	60.90	64.94	61.88	48.42	52.38	0.00	0.00	0.00	75.61	61.41
平均点	0.00	61.69	0.00	62.64	64.91	63.39	58.80	63.90	0.00	0.00	0.00	69.32	63.55
年齢	0.0	24.2	0.0	23.5	24.4	23.8	27.7	28.5	0.0	0.0	0.0	30.8	24.9
勤続年数	0.0	1.6	0.0	1.3	2.8	1.7	4.5	1.3	0.0	0.0	0.0	3.5	2.6

です。

応募者数1,401名中受験者は1,319名で、合格者は810名でした。合格率は61.41%、平均点は63.55点で、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が40%以下となった問題は、次のとおりです。

〈預金〉の分野では〔問－11〕当座勘定取引の終了と手形用紙の1問、〈手形・小切手〉の分野では〔問－22〕線引小切手の1問、〈融資〉の分野では〔問－36〕抵当権、〔問－37〕根抵当権の元本の確定、〔問－39〕債務の相続、〔問－40〕第三者による弁済の4問で、計6問でした。

正解率が低かった〔問－39〕は、死亡した債務者の借入金債務について問うものでした。死亡した債務者の借入金債務は、相続人が複数である共同相続においては、相続の開始と同時に、法律上当然に法定相続分に応じて分割承継され、不可分債務関係や連帯債務関係は生じません。問題解説集等を活用して知識の見直しを図りましょう。

## ■ 財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者4,309名中受験者は3,203名で、合格者は815名でした。合格率は25.44%、平均点は45.85点で、ともに前を上回りました。

最高点は92点で、1名の方が個人最優秀賞を

受賞されました。

最も平均点が低かった問題は、〔問題－5〕税効果会計（平均点：1.30点）でした。次に低かった問題は、〔問題－9〕キャッシュ・フロー分析（平均点：2.83点）でした。

〔問題－5〕は、税効果会計に関する資料にもとづいて金額等を算出する問題でした。税効果会計では、「将来減算一時差異」と「将来加算一時差異」、貸借対照表上における「繰延税金資産」と「繰延税金負債」、および損益計算書上における「法人税等調整額」を理解する必要があります。過去にも出題されている問題でしたが、白紙答案が多く、平均点は低調でした。

〔問題－9〕は、キャッシュ・フロー計算書の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の区分を作成し、その区分の状況について分析する問題です。キャッシュ・フロー計算書は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分を問うことが多いのですが、今回は「投資活動によるキャッシュ・フロー」の区分の問題ということもあり、平均点は低調でした。

一方で、〔問題－1〕修正仕訳と貸借対照表項目の作成、〔問題－2〕修正仕訳と連結損益計算書の作成、〔問題－8〕粉飾決算は、よく解答できていました。

全体の傾向として、勘定科目欄や語群にない科目や語句を記載する誤り、四捨五入か切上げかの指示に沿わない金額等を記載する誤り、設問の指示にある計算過程を明示しない、単位の表示の誤

〔表－4〕 財務2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	76	1,414	12	368	1,030	43	79	9	19	1	26	1,232	4,309
応募比率	1.76	32.82	0.28	8.54	23.90	1.00	1.83	0.21	0.44	0.02	0.60	28.59	100.00
受験者数	63	1,090	6	282	835	33	75	8	13	1	21	776	3,203
受験率	82.89	77.09	50.00	76.63	81.07	76.74	94.94	88.89	68.42	100.00	80.77	62.99	74.33
合格者数	28	243	2	70	125	6	29	1	8	0	4	299	815
合格率	44.44	22.29	33.33	24.82	14.97	18.18	38.67	12.50	61.54	0.00	19.05	38.53	25.44
平均点	54.75	44.58	50.83	46.21	40.64	41.21	50.93	43.00	64.38	47.00	40.14	51.92	45.85
年齢	26.4	30.6	30.3	39.4	36.3	36.7	34.7	36.5	34.1	20.0	45.1	32.7	33.6
勤続年数	3.9	7.8	5.8	16.5	13.8	12.8	10.7	15.0	8.8	2.0	20.3	8.7	10.6

りといったミスが多く見受けられました。

また、財務分析の問題では、算出した諸指標の数値にもとづいて、その諸指標の数値が何を意味するのか、なぜそのような状況が発生したのかについて、原因等を的確に判断する分析力も求められますが、単に数値の推移を記載しただけの答案もみられました。

### ■ 税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表-5〕のとおりです。

応募者数3,527名中受験者は3,007名で、合格者は980名でした。合格率は32.59%、平均点は49.87点で、ともに前回は上回りました。

最高点は100点で、2名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈所得税〉分野では〔問-2〕株式・投資信託にかかる課税、

〔問-5〕配当所得の金額の計算、〔問-13〕事業所得の総収入金額、〔問-15〕雑所得に該当するものの4問、〈相続税・贈与税〉分野では〔問-29〕各人の納付相続税額の計算、〔問-30〕相続税の未成年者控除の2問、〈その他の税金〉分野では〔問-47〕消費税の簡易課税制度の1問で、計7問でした。

2024年は、新NISAが始まるほか、相続税・贈与税に関しても大きな税制改正があります。特に相続税・贈与税は2023年までの贈与と2024年以降の贈与で生前贈与加算の取扱いが異なる期間がしばらく続きます。試験勉強により、税の仕組みを体系的に理解することで、これら税制改正に対する理解も深まります。本種目を活用していただけましたら幸いです。

### ■ 証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおり

〔表-5〕 税務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	5	944	17	354	1,071	234	549	15	26	1	12	299	3,527
応募比率	0.14	26.76	0.48	10.04	30.37	6.63	15.57	0.43	0.74	0.03	0.34	8.48	100.00
受験者数	3	801	13	290	928	195	498	10	22	1	9	237	3,007
受験率	60.00	84.85	76.47	81.92	86.65	83.33	90.71	66.67	84.62	100.00	75.00	79.26	85.26
合格者数	2	283	8	104	260	36	156	4	13	0	2	112	980
合格率	66.67	35.33	61.54	35.86	28.02	18.46	31.33	40.00	59.09	0.00	22.22	47.26	32.59
平均点	54.00	51.70	59.69	50.42	48.07	44.45	48.66	50.00	56.45	56.00	51.33	55.77	49.87
年齢	25.0	26.2	27.8	27.9	30.7	32.3	34.4	27.0	34.8	27.0	36.3	33.3	30.2
勤続年数	2.0	3.2	2.4	5.2	8.4	10.2	12.0	4.5	8.3	0.0	7.4	8.9	7.2

〔表-6〕 証券3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	9	128	18	12	44	8	72	2	11	19	0	116	439
応募比率	2.05	29.16	4.10	2.73	10.02	1.82	16.40	0.46	2.51	4.33	0.00	26.42	100.00
受験者数	9	101	15	9	38	7	69	2	10	17	0	97	374
受験率	100.00	78.91	83.33	75.00	86.36	87.50	95.83	100.00	90.91	89.47	0.00	83.62	85.19
合格者数	6	49	7	1	19	3	43	2	4	9	0	50	193
合格率	66.67	48.51	46.67	11.11	50.00	42.86	62.32	100.00	40.00	52.94	0.00	51.55	51.60
平均点	62.44	58.26	53.33	44.44	57.42	49.14	60.23	68.00	49.20	59.06	0.00	58.52	57.85
年齢	28.4	34.2	30.3	36.8	38.1	40.9	36.3	36.0	40.6	29.6	0.0	34.3	34.9
勤続年数	5.4	11.2	6.5	13.4	13.3	20.5	15.6	13.5	15.4	3.9	0.0	11.1	12.0

です。

応募者数 439 名中受験者は 374 名で、合格者は 193 名でした。合格率は 51.60%、平均点は 57.85 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 94 点で、1 名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問 - 21〕社債等、〔問 - 43〕株式の運用、〔問 - 46〕個人の有価証券運用にかかる税制、の 3 問でした。

解答状況を見ますと、全般的にはよく解答できていました。各問題の中には時事的な内容を問うものや法令諸規則の詳細な内容を問うものがあり、計算問題も平易な内容ではありませんでしたが、参考書や問題解説集をくまなく学習した受験者には対応しやすかったものと推測されます。その一方、制度改正に関する問題や「資金調達・運用、その他」の分野を苦手とされた受験者が多く見受けられました。

本種目の受験にあたっては、基本事項の学習に加えて、毎回問われている論点であっても切り口を変えて出題されることがありますので、正誤の判定ポイントとなる事項を十分に理解しておく必要があります。また、近年の制度改正や市場動向にも目を向けておくことが望まれます。

### ■ 外国為替 3 級

「外国為替 3 級」の成績結果は、〔表 - 7〕のとおりです。

応募者数 1,211 名中受験者は 1,023 名で、合格

者は 631 名でした。合格率は 61.68%、平均点は 63.02 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 94 点で、3 名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は〔問 - 7〕インコタームズ®2020、の 1 問でした。

なお、正解率の高かった問題（正解率 80% 以上）は 9 問ありました。

前回に比べ、全体の平均点・合格率ともに高くなりました。その中でも、特に輸出為替と貿易外取引の分野について、大幅に平均点が上昇するという傾向がみられました。

### ■ 預かり資産アドバイザー 2 級

「預かり資産アドバイザー 2 級」の成績結果は、〔表 - 8〕のとおりです。応募者数 502 名中受験者は 427 名で、合格者は 131 名でした。合格率は 30.68%、平均点は 49.63 点と、合格率は前回は下回りましたが、平均点は前回は上回りました。

最高点は 83 点で、1 名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

〈業務知識〉において正解率が 30% 以下となった問題は、〔問 - 1〕主な経済指標、〔問 - 24〕金融サービス提供法、の 2 問でした。

〈技能・応用〉において平均点が 3 点を下回った問題は、〔問題 - 29〕個人向け国債、の 1 問でした。金利の下限や金利設定方法など、満期ごとの商品性を比較しておくことがポイントです。

記述問題の解答にあたっては、基本知識を正確

〔表 - 7〕 外国為替 3 級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	218	362	20	13	149	2	4	1	0	0	0	442	1,211
応募比率	18.00	29.89	1.65	1.07	12.30	0.17	0.33	0.08	0.00	0.00	0.00	36.50	100.00
受験者数	201	305	15	11	127	2	2	1	0	0	0	359	1,023
受験率	92.20	84.25	75.00	84.62	85.23	100.00	50.00	100.00	0.00	0.00	0.00	81.22	84.48
合格者数	143	167	7	5	64	0	0	1	0	0	0	244	631
合格率	71.14	54.75	46.67	45.45	50.39	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	67.97	61.68
平均点	66.25	59.75	57.73	55.82	60.03	53.00	54.00	80.00	0.00	0.00	0.00	65.56	63.02
年齢	24.7	30.1	35.7	26.8	38.2	41.5	34.0	43.0	0.0	0.0	0.0	29.1	29.8
勤続年数	1.4	7.6	14.7	4.7	15.7	0.0	10.0	18.0	0.0	0.0	0.0	4.6	6.6

に習得することが重要であるため、不安がある点については通信講座等の教材も活用して復習しましょう。

■ 預かり資産アドバイザー3級

「預かり資産アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-9〕のとおりです。

応募者数1,351名中受験者は1,276名で、合格者は414名でした。合格率は32.45%、平均点は53.71点で、ともに前回を下回りました。

最高点は80点で、4名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四答択一式問題〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問-7〕ETF(上場投資信託)、〔問-16〕投資信託の投資対象、〔問-19〕家計の金融行動に関する世論調査、〔問-21〕消費者物価指数、〔問-25〕生活保障に関する調査、〔問-27〕フィデューシャリー・デューティー、〔問-

-32〕重要情報シート、〔問-34〕クーリング・オフ制度、〔問-37〕高齢者に対する勧誘ルール、〔問-38〕日本投資者保護基金、の10問でした。

〈事例付四答択一式問題〉において正解率が30%以下となった問題はありませんでした。計算問題の正解率も高く、よく学習されていることがうかがえました。

金融機関で重要情報シートを活用することにより、お客様が各商品の特徴を比較しやすくなる効果が期待されているため、この機会に内容を押さえておくことが大切です。

■ 年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数2,983名中受験者は2,495名で、合格者は551名でした。合格率は22.08%、平均点は44.17点で、ともに前回を下回りました。

〔表-8〕 預かり資産アドバイザー2級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	0	241	0	36	75	2	31	22	0	1	0	94	502
応募比率	0.00	48.01	0.00	7.17	14.94	0.40	6.18	4.38	0.00	0.20	0.00	18.73	100.00
受験者数	0	211	0	34	60	2	26	18	0	1	0	75	427
受験率	0.00	87.55	0.00	94.44	80.00	100.00	83.87	81.82	0.00	100.00	0.00	79.79	85.06
合格者数	0	73	0	3	11	1	13	4	0	0	0	26	131
合格率	0.00	34.60	0.00	8.82	18.33	50.00	50.00	22.22	0.00	0.00	0.00	34.67	30.68
平均点	0.00	50.87	0.00	42.32	46.00	56.00	54.27	48.11	0.00	42.00	0.00	51.01	49.63
年齢	0.0	34.4	0.0	38.7	38.8	41.0	41.7	40.2	0.0	32.0	0.0	37.6	36.6
勤続年数	0.0	11.4	0.0	17.2	16.5	14.0	15.3	16.3	0.0	9.0	0.0	14.2	13.5

〔表-9〕 預かり資産アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	11	362	0	38	287	17	388	74	0	9	5	160	1,351
応募比率	0.81	26.79	0.00	2.81	21.24	1.26	28.72	5.48	0.00	0.67	0.37	11.84	100.00
受験者数	11	341	0	37	272	13	378	65	0	9	5	145	1,276
受験率	100.00	94.20	0.00	97.37	94.77	76.47	97.42	87.84	0.00	100.00	100.00	90.63	94.45
合格者数	2	151	0	10	60	2	111	20	0	1	3	54	414
合格率	18.18	44.28	0.00	27.03	22.06	15.38	29.37	30.77	0.00	11.11	60.00	37.24	32.45
平均点	53.82	57.10	0.00	52.27	50.57	50.62	52.51	52.86	0.00	46.44	60.80	55.96	53.71
年齢	30.5	31.8	0.0	34.4	36.2	36.1	39.2	38.4	0.0	28.1	43.8	37.5	36.0
勤続年数	10.2	8.7	0.0	12.2	14.5	20.0	17.9	10.6	0.0	4.1	24.0	14.2	13.4

最高点は96点で、3名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率30%以下となった問題は、〔問－3〕医療保険制度等、〔問－5〕国民年金の第1号被保険者の保険料、〔問－8〕令和5年度の年金額等、〔問－27〕個人型確定拠出年金、〔問－28〕確定給付企業年金、〔問－29〕年金生活者支援給付金、〔問－31〕老齢基礎年金の受給資格期間、〔問－34〕国民年金保険料の追納および老齢給付、〔問－42〕障害給付、〔問－43〕国民年金の遺族給付、〔問－44〕遺族厚生年金、の11問でした。

〔問－3〕〔問－5〕は定番のテーマで既出の選択肢が正解であったことから、意外な結果でした。

〔問－8〕は、改正されてから長い時間を経て実施された年金額改定に関するもので、初出のテーマであったことから難しい問題でした。

〔問－27〕〔問－28〕とも、論点が多い問題を

1問として出題しています。このため、初出の選択肢もあり難しい問題です。

〔問－29〕は、受験者の方が苦手になっているテーマで、今回もその傾向どおりでした。

〔問－31〕は、解答に時間のかかる問題で、120分の試験時間ではじっくり取り組むのが難しかったかもしれません。

〔問－34〕〔問－42〕〔問－43〕〔問－44〕は、毎回出題するテーマで、定番の選択肢が正解であったことから意外な結果でした。

### ■相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数2,549名中受験者は2,269名で、合格者は634名でした。合格率は27.94%、平均点は50.32点で、ともに前を下回りました。

最高点は92点で、1名の方が個人最優秀賞を

〔表－10〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	2	123	0	21	478	141	642	17	33	1	284	1,241	2,983
応募比率	0.07	4.12	0.00	0.70	16.02	4.73	21.52	0.57	1.11	0.03	9.52	41.60	100.00
受験者数	2	93	0	18	414	124	593	16	22	1	261	951	2,495
受験率	100.00	75.61	0.00	85.71	86.61	87.94	92.37	94.12	66.67	100.00	91.90	76.63	83.64
合格者数	2	11	0	1	42	9	52	2	2	0	46	384	551
合格率	100.00	11.83	0.00	5.56	10.14	7.26	8.77	12.50	9.09	0.00	17.62	40.38	22.08
平均点	71.00	42.34	0.00	32.11	39.32	34.98	36.10	38.88	39.73	58.00	43.26	53.30	44.17
年齢	62.0	36.5	0.0	35.0	36.2	32.2	36.1	43.4	45.7	53.0	37.6	45.2	39.7
勤続年数	42.5	12.5	0.0	16.3	13.5	10.4	11.6	12.2	18.6	0.0	14.8	17.4	14.1

〔表－11〕相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	2	329	3	42	308	92	967	22	1	8	374	401	2,549
応募比率	0.08	12.91	0.12	1.65	12.08	3.61	37.94	0.86	0.04	0.31	14.67	15.73	100.00
受験者数	1	279	3	38	274	86	898	18	0	7	343	322	2,269
受験率	50.00	84.80	100.00	90.48	88.96	93.48	92.86	81.82	0.00	87.50	91.71	80.30	89.02
合格者数	0	88	2	9	73	26	215	6	0	3	102	110	634
合格率	0.00	31.54	66.67	23.68	26.64	30.23	23.94	33.33	0.00	42.86	29.74	34.16	27.94
平均点	30.00	52.32	67.33	48.63	50.10	50.65	48.18	51.00	0.00	50.00	51.84	53.06	50.32
年齢	48.0	37.3	47.3	38.2	41.1	36.2	38.6	45.6	0.0	46.0	42.5	45.9	40.3
勤続年数	14.0	14.6	21.5	14.3	18.8	14.3	16.6	15.8	0.0	15.5	20.1	19.2	17.2

受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－4〕遺言によってのみできる行為、〔問－5〕遺言の執行等、〔問－17〕生前対策の特例、〔問－22〕代理人・使者の確認事項、〔問－29〕当座勘定取引先の死亡、〔問－42〕特別受益額の計算、〔問－45〕遺留分制度と遺留分侵害額、〔問－47〕課税遺産総額の計算、の8問でした。

解答状況を見ますと、過去問で頻出の問題や論点については問題解説集等を学習していた成果が表れていましたが、従前から問われている論点でも切り口を変えた出題、制度変更があった内容、関連法令の基本知識や税制改正・税額計算に関する出題については苦手とする受験者が多く見受けられました。

本種目の受験にあたっては、問題解説集の学習に加え、通信講座や対応の公式テキストを学習して、体系的に知識を身につけて理解を深めていただくとともに、頻出の遺留分侵害額、相続税額、贈与税額の各計算の流れを正確に把握しておくことが望まれます。

### ■ 保険販売3級

「保険販売3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数573名中受験者は536名で、合格者は224名でした。合格率は41.79%、平均点は54.97点で、ともに前回は上回りました。

最高点は94点で、1名の方が個人最優秀賞を

受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－4〕生命保険の配当金、〔問－23〕死亡保険金等の非課税金額、〔問－24〕火災保険、〔問－26〕火災保険契約の契約終了、〔問－42〕保険募集指針と勧誘方針、の5問でした。

〔問－4〕は定番のテーマであり基本的な論点が正解肢であったことから、意外な結果でした。

〔問－23〕は初出のテーマであったことから難しい問題でした。

〔問－24〕〔問－26〕は定番のテーマであるものの、初出の選択肢も出題したことから、やや難しい問題でした。

〔問－42〕は定番のテーマですが、これまでとは別の視点から出題したため、難しい問題でした。

### ■ 営業店マネジメントI

「営業店マネジメントI」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者870名中受験者は738名で、合格者は244名でした。合格率は33.06%、平均点は54.91点で、ともに前回は下回りました。

最高点は78点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

10題中、平均点が5点を下回ったのは、〔問題－7〕取引先の資金ニーズ把握と取引深耕策、の1題でした。

また、〔問題－10〕で取り上げた「人的資本経

〔表－12〕 保険販売3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	2	428	0	15	42	1	20	2	0	0	1	62	573
応募比率	0.35	74.69	0.00	2.62	7.33	0.17	3.49	0.35	0.00	0.00	0.17	10.82	100.00
受験者数	2	408	0	14	38	0	20	2	0	0	1	51	536
受験率	100.00	95.33	0.00	93.33	90.48	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	100.00	82.26	93.54
合格者数	1	193	0	4	6	0	2	2	0	0	1	15	224
合格率	50.00	47.30	0.00	28.57	15.79	0.00	10.00	100.00	0.00	0.00	100.00	29.41	41.79
平均点	55.00	56.50	0.00	48.29	48.37	0.00	44.20	77.00	0.00	0.00	68.00	52.59	54.97
年齢	53.5	31.3	0.0	33.6	37.8	0.0	36.5	54.0	0.0	0.0	45.0	40.3	33.1
勤続年数	0.0	8.4	0.0	13.0	15.9	0.0	13.5	0.0	0.0	0.0	21.0	15.6	10.0



営」に関して、令和4年9月に「人材版伊藤レポート2.0」が発表されています。今後の企業経営における経営戦略・人材戦略のあり方について、この機会に改めて学習しておくようにしましょう。

本種目は、通常の業務や近時の関連情報等に即した出題内容となっています。また、営業店におけるマネジメントに関する知識のほかにも営業推進に関する知識も広範に問われます。日頃の社会的な動きを注視しつつ、制度改革などの情報を収集しながら、マネジメントや営業推進に応用できるよう、当試験をご活用ください。

### ■ 営業店マネジメントⅡ

「営業店マネジメントⅡ」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数1,230名中受験者は1,073名で、合格者は508名でした。合格率は47.34%、平均点は

58.43点で、ともに前回は上回りました。

最高点は83点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四択一式と記述式で構成されています。

四択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕マネジメント理論、〔問-24〕成年後見制度、〔問-25〕預貯金者保護法、〔問-37〕日銀短観、の4問でした。いずれも営業店の管理者として理解しておかなければならない必須の知識ですので、改めて習得しておくようにしてください。また、記述式で平均点が5点を下回った問題はありませんでした。

本種目はマネジメントにおいて初級管理者が抱える課題に幅広く対応するため、出題範囲が多岐にわたっています。本種目の学習を通じて得意または不得意分野を再確認し、必要な知識の見直しをすることにより、マネジメントの実践に役立て

〔表-13〕 営業店マネジメントⅠ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	28	398	0	111	99	13	5	30	0	0	0	186	870
応募比率	3.22	45.75	0.00	12.76	11.38	1.49	0.57	3.45	0.00	0.00	0.00	21.38	100.00
受験者数	24	341	0	99	88	11	4	25	0	0	0	146	738
受験率	85.71	85.68	0.00	89.19	88.89	84.62	80.00	83.33	0.00	0.00	0.00	78.49	84.83
合格者数	13	118	0	23	28	3	1	5	0	0	0	53	244
合格率	54.17	34.60	0.00	23.23	31.82	27.27	25.00	20.00	0.00	0.00	0.00	36.30	33.06
平均点	60.33	55.49	0.00	53.04	52.83	54.09	55.00	55.08	0.00	0.00	0.00	55.24	54.91
年齢	39.2	41.0	0.0	42.5	43.9	44.0	44.0	44.8	0.0	0.0	0.0	40.6	41.6
勤続年数	16.1	17.9	0.0	19.4	20.6	18.5	21.8	20.0	0.0	0.0	0.0	15.5	18.0

〔表-14〕 営業店マネジメントⅡ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	14	309	0	144	305	47	34	209	0	0	0	168	1,230
応募比率	1.14	25.12	0.00	11.71	24.80	3.82	2.76	16.99	0.00	0.00	0.00	13.66	100.00
受験者数	11	274	0	132	272	42	30	175	0	0	0	137	1,073
受験率	78.57	88.67	0.00	91.67	89.18	89.36	88.24	83.73	0.00	0.00	0.00	81.55	87.24
合格者数	10	151	0	56	116	10	11	68	0	0	0	86	508
合格率	90.91	55.11	0.00	42.42	42.65	23.81	36.67	38.86	0.00	0.00	0.00	62.77	47.34
平均点	70.45	60.19	0.00	57.73	57.47	51.48	54.27	56.49	0.00	0.00	0.00	62.04	58.43
年齢	38.7	38.3	0.0	40.4	40.8	42.1	46.8	38.7	0.0	0.0	0.0	37.4	39.5
勤続年数	15.4	15.0	0.0	16.9	18.5	17.4	24.8	14.2	0.0	0.0	0.0	13.4	16.2

てください。

■ 事業承継アドバイザー3級

「事業承継アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数455名中受験者は386名で、合格者は148名でした。合格率は38.34%、平均点は55.57点で、ともに前回は上回りました。

最高点は84点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕事業承継関連の制度、〔問-4〕信用保証協会、〔問-8〕日本政策金融公庫、〔問-9〕株式会社の定款、〔問-25〕遺言、〔問-34〕中小M&A

ガイドライン、〔問-40〕種類株式の相続税評価、〔問-44〕土地Zの相続税評価額（計算）、〔問-50〕収益力改善実務指針-ガバナンス体制の整備、の9問でした。

いつもと傾向が似ており、制度や仕組み、法務や税務等に関する問題で、若干低めの正答率となりました。

本種目の出題範囲は、事業承継やM&Aにかかる法務・税務の基本知識に加えて、取引先の現状把握・分析、融資手法、各工程のアドバイス、公的支援の概要など、幅広く実務的な内容を多く含んでいます。

多様なテーマに対応できるように、広範な学習が求められます。

〔表-15〕 事業承継アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・銀特	地銀	信託	第地	二銀	信金	信組	信連農	協	労金	生保	証券	郵政	他団体個人	全体
応募者数	2	170	0	17	181	27	12	0	0	0	4	42	455		
応募比率	0.44	37.36	0.00	3.74	39.78	5.93	2.64	0.00	0.00	0.00	0.88	9.23	100.00		
受験者数	2	141	0	16	152	23	11	0	0	0	4	37	386		
受験率	100.00	82.94	0.00	94.12	83.98	85.19	91.67	0.00	0.00	0.00	100.00	88.10	84.84		
合格者数	2	63	0	4	45	6	8	0	0	0	4	16	148		
合格率	100.00	44.68	0.00	25.00	29.61	26.09	72.73	0.00	0.00	0.00	100.00	43.24	38.34		
平均点	67.00	56.98	0.00	51.13	53.89	52.35	62.55	0.00	0.00	0.00	65.00	57.30	55.57		
年齢	46.0	33.1	0.0	37.7	40.4	43.5	38.0	0.0	0.0	0.0	46.8	49.1	38.7		
勤続年数	22.5	10.7	0.0	17.3	17.9	19.6	13.8	0.0	0.0	0.0	20.3	22.2	15.5		

